

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	アジア人中腸 NET の臨床病理学的特性に関する多施設共同研究		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2025年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で、外科的切除または内視鏡的切除を受けた中腸・後腸（十二指腸の一部、小腸、大腸）NETの方		
④ 対象期間	1980年1月1日から2018年1月31日まで		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	消化器・腫瘍外科		
⑦ 研究責任者	氏名	永野 浩昭	所属 消化器・腫瘍外科
⑧ 使用する試料・情報等	<p>1.過去に採取され保存されている人体から取得した病理材料 (対象臓器名：十二指腸の一部・小腸・大腸) 組織型、腫瘍増殖能、WHO分類の他、腫瘍進展度、脈管侵襲の程度、壊死の程度等の病理組織学的因子</p> <p>2.診療情報 年齢、性別、腫瘍局在、腫瘍径、家族性腫瘍症候群（MEN1, NF1, VHL）、ホルモン関連症状の有無、腫瘍進行度(cTNM, cStage)、手術法、術前術後療法の有無とその症例、再発の有無、無病生存期間、全生存期間、ソマトスタチンシンチグラフィ、Peptide Receptor Radio nuclide Therapy (PRRT)等の情報</p>		
⑨ 研究の概要	<p>消化管NETで、日本で特に頻度の低い中腸（十二指腸の一部、小腸、大腸の一部）NETの特徴は全く解析されていません。</p> <p>また、治療薬の効果も腫瘍の部位や人種によって異なることが示されていますが、原因は明確にされていません。</p> <p>そのためこの研究では、患者さんの病理組織や臨床情報を用いて、NETの発生部位による特徴の違いを明らかにするとともに、治療の有効性についての検討を行います。</p> <p>当院からは、臨床情報と未染プレパラートの状態で試料を提供し、東北大学で解析を行います。</p> <p>また、アジア人との比較のためドイツ人の試料や情報についても、ドイツミュンヘン工科大学にて集積・解析を実施します。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年5月31日	
⑪ 研究計画書等の関	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報		

覧等	及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	日本神経内分泌腫瘍研究会、および東北大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	東北大学の運営費交付金		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 担当者：松井 洋人		
	電話	0836-22-2264	FAX 0836-22-2263

別添

研究組織

研究代表者：

藤島 史喜

東北大学病院病理部 准教授

研究参加施設と研究責任者

日本神経内分泌腫瘍研究会公式ホームページ

<http://jnets.umin.jp/member.html>